

# 第3回 安部一郎十段杯争奪群馬県中学生柔道大会 要項

1. 主 催 群馬県柔道連盟

2. 共 催 前中・前高柔道部OB会

3. 主 管 群馬県中体連柔道部

4. 協 賛 株式会社 徳永 株式会社旅がらす本舗 清月堂 (株)吉原

第2回大会  
の実績 KOUTOKU GROUP 群馬県柔道整復師会 塚越クリニック  
今成運送(株) ケイカンパニー 株式会社 市川食品

5. 会 場 ALSOOK ぐんま武道館大道場

6. 日 時 令和8年2月8日(日) 受付 9:00~ 審判・監督会議 9:30~  
開会式 10:00~ 試合開始 10:20

## 7. 参加資格

- (1) 群馬県内の中学生(男子・女子)1、2年生で令和7年度全柔連に競技者登録している者。
- (2) 群馬県内の中学校・スポーツ少年団・柔道教室のいずれかに所属している者。
- (3) 稽古期間6か月以上で、受け身を習得している者。
- (4) 選手本人の出場意志を確認し、健康に十分な配慮、感染防止対策を行い、保護者の承諾を得た者。
- (5) チーム同士の合同チームの参加を認める。

## 8. 競技規則

国際柔道連盟試合審判規程(2025-2028)、国内における「少年大会特別規程」、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法、本大会申し合わせ事項によって行う。

## 9. 競技方法

### (1) 男子団体戦(2つのカテゴリーに分けて実施)

- ア. 1チームは監督1名、コーチ1名、選手5名(1年生1名以上出場)、補員2名とする。
- イ. カテゴリー別に参加チーム数に応じたリーグ戦を行い、各リーグの上位1または2チームによるトーナメント戦を行う。

### (2) 女子団体戦(2つのカテゴリーに分けて実施)

- ア. 1チームは監督1名、コーチ1名、選手3名(1年生1名以上出場)、補員2名とする。
- イ. カテゴリー別に参加チーム数に応じたリーグ戦を行い、各リーグの上位1または2チームによるトーナメント戦を行う。

### (3) 団体戦の競技方法

- ア. チーム間の試合は点取り試合とする。

- イ. 判定基準は「一本」、「技あり」、「有効」、「指導差2」の「僅差」、「指導差1」以下の場合は「引分」とする。ただし、代表戦においては、本戦で同等の場合は時間無制限のゴールデンスコア方式によって必ず勝敗を決する。

- ウ. リーグ戦におけるチーム間の勝敗は、次の順によって決定する。

#### (1) 勝ち数による。

- (2) (1)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

- (3) (2)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

- (4) (3)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。

- (5) (4)において同等の場合は、引分とする。

- エ. リーグ戦の順位は、次の順によって決定する。

- (1) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

- (2) (1)において同率の場合は、勝ち数の合計による。

- (3) (2)において同等の場合は、勝ちの内容による。  
(4) (3)において同等の場合は、負け数の合計による。  
(5) (4)において同等の場合は、負けの内容による。  
(6) (5)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。ただし、3校以上同等の場合は、任意の代表選手によるリーグ方式を行う。
- オ. 内容を見る場合には、一本勝ち、技あり優勢勝ち、有効優勢勝ち、僅差による勝ちに差をつける。  
(一本勝ち > 技あり優勢勝ち > 有効優勢勝ち > 僅差による勝ち )
- カ. トーナメント戦におけるチーム間の勝敗は、次の順によって決定する。  
(1)勝ち数による。  
(2) (1)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。  
(3) (2)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。  
(4) (3)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。  
(5) (4)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。
- キ. 選手の配列は、体重が最も重いものを大将とし、以下準じ、体重順で編成する。選手が満たない場合には、先鋒から順に欠員とする。なお、毎試合、オーダーの入れ替えを行うことができるとしている。
- ク. 試合時間は3分とする。

10. 参加申込 群柔連HPより申込用紙をダウンロードし、添付ファイルを12月26日(金)までに木暮 寛幸 宛に申し込む。その際、ファイル名は『R7申込(チーム名:○○)』とする。  
<申込先> gunma.jhs.judo@gmail.com
11. 参加料 1人 500円(保険料及びプログラム代等)※当日の受付9:00~で集金します。
12. 組み合わせ 群馬県柔道連盟事務局で行う。
13. 表彰 カテゴリーごとに男女団体戦優勝チーム以下3位までの4チームとする。
14. その他
- (1) 大会中の不慮の事故・疾病について応急処置を施すとともに傷害保険の範囲内の責任を負うものとする。
- (2) 万が一の事故の発生に備え、参加選手団体で傷害保険に加入するなど、事故対策を立てておくこと。
- (3) 脳振盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守すること
- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急脳神経外科などの精査を受けること)
- ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④ 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (4) 閉会式には、できる限り出場選手は参加をする。
- (5) 監督・コーチは、大会運営に協力を願います。昼食を用意させていただきます。

開会式次第

1. 主催者挨拶
2. 優勝杯返還
3. 安部一郎先生の紹介
4. 来賓紹介
5. 試合上の注意
6. 選手宣誓

閉会式次第

1. 成績発表及び表彰
2. 講評

※閉会式後に、参加選手全員での記念撮影を行います。